

～みんなちがって みんないい (その8)～

本年度の最初に、「様々な多様性を認め合い、尊重することの大切さ」についてお話ししました。日本は「違うこと」を「受け入れる」ことが苦手な国ですが、これから真の国際社会人として育つ子ども達の理解を深めていくには、大人たちの理解と対応こそが必要になります。今回は「性の多様性」についてお話しします。

長崎県は2013年に「障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり」条例を県議会で可決し、翌年4月から条例の施行が始まりました。この中で「差別の撤廃」「不均等待遇の改善」「合理的配慮の提供」を長崎県の取組として掲げています。(県のHPを是非ご覧ください)「性の多様性」への理解や上記待遇の改善もこの中には含まれています。

「LGBT」「性的マイノリティ」と表現されることがありますが、まずは正しく理解していただくために、少し説明させていただきます。

近年、世界中で、多様化する性的マイノリティ(少数派)への対応が求められています。日本でもおよそ8%の方が性的マイノリティであるという調査結果が出ていますが、実際にはもっと多いと考えられます。マイノリティと聞くと「少ないだろう」「ほとんどいないだろう」と考える方が多いと思いますが、実は「偏見や差別を恐れてカミングアウトできず」にいる人がとても多いのです。

性的マイノリティは「性的志向(セクシャルオリエンテーション: Sexual Orientation)」と「性自認(ジェンダーアイデンティティ: Gender Identity)」の2つに大きく分けて考えられています。そのため、それぞれの頭文字を取って「SOGI」と表現されることもありましたが、一般的には「LGBTQ」さらに詳しく「LGBTQIA」と表現されることが多く、これもそれぞれの頭文字を指しています。

簡単に説明すると、「性的志向」とは「恋愛対象の性がどちらか」ということであり、「性自認」とは「自分の心と身体の性をどのように捉えているか」ということになります。性的マイノリティの方は「心の性」と「身体の性」、「恋愛対象」がそれぞれ違っている、または一致していない方と言えます。詳しく説明します。

L…Lesbian(lesbian)

「心の性」「身体の性」とともに「女性」で、

「恋愛対象」が「女性」の方です。

G…Gay(ゲイ)

「心の性」「身体の性」とともに「男性」で、「恋愛対象」が「男性」の方です。

B…Bisexual(バイセクシャル)

「心の性」「身体の性」とともに一致していて、恋愛対象が「男性女性」の両性の方です。

T…Transgender(トランスジェンダー)

「心の性」と「身体の性」が一致しておらず、「身体の性」に違和感をもっていらっしゃる方です。「心の性」に沿った生き方をしたいと思っている方が多く、そのため性適合手術を受ける方もいらっしゃいます。

Q…Questioning(クィスティング)

自分の「性」が分からない、意図的に決めていない、または決まっていない方です。

I…Intersex(インターセックス)

生まれつき男女両方の身体的特徴を持たれている方です。

A…Asexual(アセクシャル)

誰に対しても恋愛感情を抱かない方です。

以前話題になった「おっさんずラブ」や「消えた初恋」など、現在は「性の多様性」を考えさせる番組がいくつも制作されています。そのおかげで、少しずつ理解が深まりつつあります。

長崎県では長崎市が2019年に「長崎市パートナーシップ宣誓制度」を開始、大村市も2023年に「大村市パートナーシップ宣誓制度」を開始し、多様なパートナーシップに対する支援を行っています。この制度は国の法律改正とは違うので、法律上の婚姻や相続、税制面などの法律上の効果はありませんが、様々なサービスや社会生活上の支障を軽減できるようサポートしていく取組です。全国的にこのような取組が行われている都道府県を調べると、すべての自治体で取り組んでいるところ、長崎のように少数の自治体しか採択していないところなど様々です。100%達成している都道府県は28都道府県で、九州では福岡県・佐賀県・大分県が100%採択しています。長崎県でもこのようなパートナーシップ制度を採択する自治体が増えてほしいですね。

アフターコロナの現代、誰もが自分らしく、生き生きと生活していける世の中になんて変わっていくことを願います。